

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 42週

集計期間 10/13-19

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症		1	1		2									4
咽頭結膜熱														
溶連菌感染症			2		1	1	1	1				1		7
感染性胃腸炎		2	1	2	2	2	5	4	1	1	2	6		29
水痘			1						1					2
手足口病														
伝染性紅斑									1					1
突発性発疹		2												2
百日咳														
ヘルパンギーナ						1								1
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
						小児科定点総数 46		増減 -16		前週比 74.2%				定点当たり 7.7
										病院:開業医 4:42				増減 +1:-17
内科Flu														
								インフルエンザ総数		増減 0		前週比 ?%		定点当たり
										小児科:内科 0:0				増減 0:0

総数46、前週の74.2%と減少です。総数が50切るのは珍しいです。
 首位は、感染性胃腸炎、前週比78%、定点当たり4.8と、減少です。
 2位は、溶連菌感染症、前週比175%、定点当たり1.2と、増加です。
 以下は、全て、定点当たり1未満で少数ですが、
 RSウイルス感染症、4名が目立ちます。
 他は、水痘、突発性発疹が2名ずつ、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑が1名ずつです。
 咽頭結膜熱、手足口病は、0になりました。

41週の旧静岡地区のインフルエンザは、0名になりました。

秋らしい、落ち着いた状況です。